

天満屋倉敷店 2018年10月の画廊予定

◎ 4階美術画廊

会 期	内 容
9/26(水)～10/1(月)	<p><small>しぜん</small> 自然にまかせて —はじまり— <small>おかしま みつり とうげい てん</small> 岡島光則陶芸展</p> <p>倉敷市在住の陶芸家・岡島光則先生の新作展です。穴窯とガス窯を使い分け、焼き締め陶から釉薬を用いたポップな色調の作品までこなし、前衛的要素を含んだ造形には定評があります。置いているだけでもオブジェになるような造形的な花器や普段使いの茶碗やカップ、皿に小鉢などの食器も含め、約70点を出品いたします。</p>
10/3(水)～10/8(月・祝)	<p><small>つばき えん</small> <small>かいがてん</small> 椿苑 絵画展</p> <p>岡山市在住の洋画家・椿苑先生の作品展です。公募美術団体「白日会」の会員として白日会や日展を中心に活躍中の椿苑先生は、白日会の理念である具象絵画を追求されながら一貫して年輪を重ねた巨樹や古木を描き、細部まで丁寧に描かれた作品は圧倒的な迫力と重厚感があります。2016年の岡山県美術展覧会では最高賞である山陽新聞社大賞を受賞されるなど益々活躍が期待される椿苑先生の油彩作品約30点を出品いたします。</p>
10/10(水)～10/15(月)	<p><small>かぶと やま がき</small> <small>おかもと たつや とう てん</small> 兜山窯 岡本達弥 陶展</p> <p>高梁川西岸酒津八幡山(通称兜山)の山麓にある酒津兜山窯の三代目岡本達弥先生の二年ぶりの新作展を開催いたします。1975年に二代目岡本孝明先生の長男として生まれ、岡山大学特美を卒業後、兜山窯の後継者として厳しい薫陶を受けられました。兜山の良質な土を生かし、灰釉を主に海鼠釉、糖白釉、青瓷ほか多種多様の釉を駆使して作品制作に取り組んでおられます。今展では、今年の田部美術館茶の湯の造形展で優秀賞を受賞した銀彩シリーズも含め、造形や釉彩において伝統を受け継ぎながら独創的で個性あふれる新作約70点を展覧いたします。</p>
10/17(水)～10/22(月)	<p><small>いと よこた なおこ てん</small> 糸・横田尚子展</p> <p>生活者の視点から素材にこだわり、独自の天然素材を使用したニット製品を作っている横田尚子先生の作品展です。ファッション性だけでなく、伸ばしても直ぐに戻る復元力と弾力、そして動きやすさと丈夫さを兼ね備えた作品は、働く女性から大きな支持を得ています。リフォームや染め替えも可能で親子三代までも着ることが出来ます。肌触り、伸縮性、吸湿性にこだわったニット作品の数々を展覧いたします。</p>
10/24(水)～10/29(月)	<p><small>いしかわ か たん び</small> <small>せかい てん</small> 石川珂旦 美の世界展</p> <p>革新的造形で芸術としてのジュエリーの新天地を切り開いた美術作家・石川珂旦先生の新作展を開催いたします。これまでにない流麗で気品あふれる造形美となめらかな装着感でファンを拡大させている石川先生の最新作ジュエリーを中心に立体造形作品、絵画を展覧いたします。</p>
10/31(水)～11/5(月)	<p><small>びぜん</small> <small>ほそかわ たか ひろ とう てん</small> 備前 細川敬弘 陶展</p> <p>備前焼若手作家細川敬弘先生の新作展です。細工物の置物を得意とする備前焼作家・竹村永楽の孫として祖父の仕事を見て育ち、備前陶芸センター修了後は祖父に1年間師事。伝統を踏襲しながらも独創的かつ使い手の立場に立って制作される作品は高い評価を得ています。今展では花器、茶陶、酒器、食器など約100点を出品いたします。</p>

作成：美術画廊担当 国光

営業時間 毎日午後6時閉場

※10/2・9・16・23・30は閉廊日

いずれも会期最終日は、午後4時に閉場いたします。

お問合せ

天満屋倉敷店 販売計画

TEL 086-426-2205

FAX 086-426-1136

※会期・タイトルは都合により変更することがあります。